

そよかぜ 8月園便り

令和5年8月1日(火)

西東京市立そよかぜ保育園

昨年の8月の園だよりを見返していた所、「コロナの波が押し寄せている…」との記述がありました。そうでした、昨年の夏はコロナでのお休みが一気に広がった時期でした。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」というわけではありませんが、濃厚接触者の特定や登園自粛のお願いなど、皆さんにもたくさんのご協力をいただいたことが、遠い昔のことものようにも感じます。その節は本当にありがとうございました。

そして今。コロナ禍で抑え込まれていた様々なウイルスが活性化して保育園中を席卷しているような印象を受けます。RSウイルス、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、ヒトメタニューモウイルス…7月からそれらの感染症があつという間に広がって、その勢いにビックリ！

昨年はコロナの感染が広がらないようにと鉄壁の守り(!?)を固めたので、他のウイルスによる感染症も流行することはありませんでした。

その結果、通常であれば例えばウイルスが身の回りにあった時にそれが体の中に入って、ある程度免疫が獲得できたものが、**感染拡大防止**(消毒の徹底やマスクの着用など)を強化したことで、そういった免疫も獲得できなかったという側面もあると思います。また、コロナ禍において在宅で過ごす時間も長くなり、**体力の低下**を招いたことも免疫が下がった要因の一つかもしれません。

免疫力を高めるにはしっかり食べてよく眠ること。そして大事なのは、やはり体を動かす(運動)ことです。まだまだ暑い日が続くので戸外遊びも難しいですが、太陽の光を浴びて泥んこ遊びをしたり、芝生や土の上を走り回ってウイルスや雑菌に晒されることで免疫力は高まっていきます。夏の間はプール遊びや水遊びが中心となりますが、外で遊ぶことをこれからも大事にしていきたいと思っています。

コロナは私たちが予想だにしなかった猛威をふるい、命さえも奪っていく状況がありましたが、78年前の日本には何百万人という人々が命を落とした「戦争」がありました。

実体験として戦争の悲惨さを語る人が少なくなっている今、日本人として「戦争によって様々なものが犠牲となっていたこと」「平和であることがどれだけ尊く大切であるかということ」を改めて子どもたちに伝えていきたいですね。

そこで…『**かわいそうなぞう**』のお話を読み聞かせしてみませんか。

子どもの頭と心は柔軟です。そして、日々の保育の中で「自己肯定感」や「他者を思いやる気持ち」が育っていくことで、経験したことのない「戦争」についても色々なことを感じ、考え、それが「生きる力」を養うことにも繋がっていくのではないのでしょうか。

二度と戦争を起こさないためにも、子どもと一緒にどうしたらいいのか、何を守るといいのかを考えて、共感できるといいですね。

～ お知らせ ～

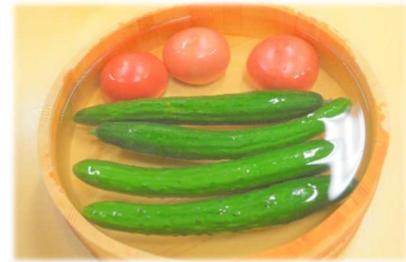
学校が夏休みの期間、中高生の夏の体験ボランティア、卒園児、在園児のご兄弟が保育園に遊びに来ることもあります。在園児のお子さん、遊びに来て下さる方の安全に配慮しつつ、子どもたちと共に遊んでもらったり、保育のお手伝いをしてもらったりと考えております。在園児のご兄弟で「保育園で一緒に過ごしてみたい」という方がいましたら、園長までお声掛けください。

HPのお知らせ

昨年、一昨年は予定していた“お祭り”が夏には行えず、『秋祭り』となってしまいましたが、今年久しぶりに夏にできました。HP内 Blogにてご紹介していきますので是非ご覧ください。

今年のお祭りのコンセプトは

『暑い夏を感じ、食べて遊んで乗り切ろう』



<https://soyokaze-hoikuen.net/>

8月の行事

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
			布団乾燥		山の日	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
	年長 縄編み				年長お泊り保育 説明会	
27	28	29	30	31		
			誕生会 避難訓練			

8月 は 平和について考える月にしませんか

1945年8月15日 暑い夏の日 戦いの幕を下ろした。沢山の尊い命を奪った暗い日々が終わった。

激しくなる戦火から子どもたちを守るため保育園児を連れて疎開した保育士。「上野動物園では空襲で檻が破壊された時、猛獣たちが逃亡することを其れ、殺傷処分となったライオンたち。

あれから78年「何のため？誰が？」等を口にすることも憚られ、抗することを許さない時代に胸が痛みます。 歴史上の出来事として、どの位の方たちが記憶にとどめているのでしょうか。その出来事を語り継ぐ人も少なくなっていました。

どのように取り繕っても「戦争に正義はない」し、為政者の思惑だけで舵を切ってはならないのです。不穏な動きが世界中を駆け巡っています。諍いの治まる様子が見えません。生活に係る様々な品々の高騰をしり目に、防衛予算は青天井なののでしょうか。疑問に思います。

「武力で命と平和は守れるか？」「戦争をしないためにどうする」「戦争を経験していないからこそ悲惨な戦争を起こしてはならない」と高校生たちが呼びかけています。それぞれが「私」の問題として捉えていきたいですね。深刻化しないことを願うばかりです。

家族で育つ 一緒に育ち合う

いろいろ出掛けたくなる夏休み 今年はどうな事を予定されていますか？ 楽しい時間を過ごしたいですね。

子どもが一人だった時はその子に合わせた生活スタイルができたでしょうが、家族が増えるとなかなか一緒にという訳にはいかないですね。やりたいことも色々。「彼方立てれば此方が立たぬ」 さてどうしよう??? なんてことがしばしば。年長者に合わせ、下の子たちは・・・となりがち。仕方がないとはいえ、育児分担にも限りがあり、応援が欲しいがままならないのも現実です。

「そんなこんな」を、一つずつ力を合わせ、乗り越えていく それが家族です。可能な限り同じ空間の中にいて、お互いにちょっと我慢をし合ったり、『こんどね』と順番こで、楽しみにしながら待つことも必要でしょう。それぞれの気持ちに想いをはせ、育ちあいを重ねていきましょう。

お出かけする時など、トラブルを避けるため見つからないようにソーと居なくなる…なんて作戦を取ることもあろうかと思いますが、後で私だけ置いて行かれたと知った時のショック = 痛手 = は大きいですよ。「内緒」や「こっそり」は裏切り行為に繋がりますから要注意。不安感が増していきます。納得を得る方法を考えて下さいね。

職員のつぶやき

入職2年目の今年、初めて3泊4日の清里キャンプに5歳児クラスつばめ組と行くことになりました。初めてのことで緊張していましたが、4日間とも天候に恵まれ楽しく過ごすことが出来ました。

山登りも初めてだった為、登り切れるか不安がありましたが子どもたちと励まし合いながら、頂上への期待を膨らませ、楽しく登りきる事ができました。

一日目の飯盛山では、頂上で「やっほ」とみんなで叫び、やまびこに子どもたちと同じように驚き、楽しむことができました。大浴場では大家族になったかのようにみんなで肩を並べてお湯につかり、テントの中では寝袋に入ると、疲れもありすぐに眠る子ども達。朝起きると寄り添うように近づき寝ている姿がとても微笑ましかったです。4日間を通して子ども達のエネルギーや、最後まで諦めずに歩み続ける姿に感動し、私もより頑張ろうと思うことが出来ました。

沢山のパワーを自然から、子ども達からもらうことができました。

羽村たつの子保育園 シーケルス 花梨